

【「1分で理解できる解答」の書き方」の概要】

「内容が明確に伝わる技術文書の書き方」の中に「6つのルールと18の書き方」があります。その中の「書き方1：要点を冒頭に書く」を使った「1分で理解できる解答」の書き方^{注)}の概要の解説です。

注)：「1分で理解できる解答」の書き方の詳しい内容については、弊社のウェブサイトの「1分で理解できる解答」の書き方を参照してください。

1. 「書き方1：要点を冒頭に書く」について

「書き方1：要点を冒頭に書く」とは、「内容に関する要点を冒頭に書き、この要点に関する説明をその後に書くこと」です。

【6つのルールと18の書き方】

| ルール | | 書き方と内容 | |
|------|------------|--------|-------------|
| ルール1 | 冒頭に書く | 書き方1 | 要点を冒頭に書く |
| | | 書き方2 | 全体像を冒頭に書く |
| | | 書き方3 | 枠組みを冒頭に書く |
| ルール2 | ペアで書く | 書き方4 | 根拠を書く |
| | | 書き方5 | 条件を書く |
| ルール3 | 分けて書く | 書き方6 | かたまりに分けて書く |
| | | 書き方7 | 箇条書きで書く |
| | | 書き方8 | 表で書く |
| ルール4 | 視覚的に書く | 書き方9 | 写真や図を入れて書く |
| | | 書き方10 | 強調して書く |
| | | 書き方11 | まとまりを持たせて書く |
| ルール5 | 合わせて書く | 書き方12 | 組み合わせで書く |
| ルール6 | 明確に伝わる文を書く | 書き方13 | 具体的な文を書く |
| | | 書き方14 | 意味が明確な文を書く |
| | | 書き方15 | 能動態の文を書く |
| | | 書き方16 | 短い文を書く |
| | | 書き方17 | 肯定文を書く |
| | | 書き方18 | 文法を守って文を書く |

2. 「1分で理解できる解答」とは

「1分で理解できる解答」とは、「解答の要点」と「解答の要点に関する説明(=要点の説明)」が書いてある解答のことです。これは、「書き方1：要点を冒頭に書く」を使った考え方です。

「内容に関する要点（内容の要点）＝解答の要点」, 「内容の要点に関する説明（要点の説明）」
＝「解答の要点」に関する説明（要点の説明）」と考えることができるからです。

3. 「1分で理解できる解答」の例

例えば、「在宅勤務の問題を1つ述べよ」のような問題があったします。この問題に対して以下のように解答を書くのが「1分で理解できる解答」です。

在宅勤務の問題は、情報漏洩の危険性が出てくることである。会社内で仕事を行う場合には、社内のセキュリティによって会社内にある情報が外部に流出する可能性は小さい。しかし、在宅勤務になると、自宅で使うパソコンのセキュリティが会社のセキュリティに比べて脆弱になる。そのため、在宅勤務によって情報が外部に流出する危険性が出てくる。

ここで、ゴシック体で書いてある内容が「解答の要点」です。明朝体で書いてある内容が「要点の説明」です。このように書くと解答が明確に伝わります。

4. 「1分で理解できる解答」を書くうえでのポイント

「1分で理解できる解答」を書くうえでのポイントとは以下の2つのことです。

- ①解答の要点と解答の要点の説明を考え、これらに基づき解答を書くこと
- ②解答の要点を解答の冒頭に書き、この要点の説明をその後に書くこと

*②は、「書き方1：要点を冒頭に書く」での「内容に関する要点を冒頭に書き、この要点に関する説明をその後に書くこと」の考え方です。

「3. 『1分で理解できる解答』の例」で解説した解答例もこれらのポイントに基づき解答を書いています。

5. 「1分で理解できる解答」を書く理由

「解答の要点」と「要点の説明」が書いてあるので試験官に解答が明確に伝わるからです。また、「解答の要点」と「要点の説明」が書いてあるので、何度も読み返さずに一度読んだだけで解答が理解できるからです。「結局、何が言いたいのだろう」と考える必要がありません。

以上